

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	校外学習バス運営事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小・中学校の児童生徒及び幼稚園の園児	意図	児童生徒等の校外学習の安全な移動手段を確保するため、バスを借り上げ各施設間等の移動手段に使用する。
事業内容	小・中学校の児童生徒等の校内学習において、限られた時間の中で効率よく安全に施設間を移動するため、バスを借り上げ移動手段を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	小学校3，4年生の校外学習を中心に、特別支援学級及び幼稚園からの要望に対応している。 校外学習バス運行委託契約において、債務負担行為を設定し、平成25年度から27年度まで単価契約を締結している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	実施率	100			
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童生徒等の校外学習の安全な移動手段を確保するため、校外学習バス運行委託契約を締結し、各施設間等の移動手段に使用している。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,219,760	4,866,020	6,032,100			
事業費(b)(円)		3,263,400	3,276,720	3,396,600			
うち一般財源		3,263,400	3,276,720	3,396,600			
職員給与費(c)(円)		1,956,360	1,589,300	2,635,500			
人役・職員(人)		0.28	0.23	0.35			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	バスの増車について、予算との関連も含め、一定の範囲内で実施していく。	③取組の課題	総合学習としての学校独自の特色ある授業内容によって、バスを増やしてほしい旨の要望がある。
②今年度(H27)に実施した取組	小学校の3，4年生の校外学習を中心に、特別支援学級及び幼稚園からの要望に対応している。	④今後の改善計画	バスの増車については、予算との関連も含め今後も一定の範囲内で実施していく。